

八幡さまで祀られる玉依姫は何者か？

山形県立山形東高等学校 長坂真歩

○動機、概要

六椹八幡宮（山形市）を参拝した際、祭神に「玉依姫（たまよりひめ）」とあった。調べると、玉依姫は多くの八幡系神社で全国的に祀られているようだった。玉依姫は神と繋がることで神格化された女性の総称であり、特定の神を示す語ではない。そこで、八幡系玉依姫がどの女神を示しているのかを明らかにする。

○方法

1. 八幡信仰の総本社である宇佐神宮の祭神と歴史を調べる。
2. 古事記、日本書紀から八幡神と玉依姫の関係が見られる記述を探す。
3. 六椹八幡宮の神職の方にお話を聞く。

○結果1,2

- ・神社によって玉依姫の示す神は様々→玉依姫命説、宗像三女神説、その他
 - ・宇佐神宮…宗像三女神説（むなかたさんじょしん）
- 古事記：神功皇后（じんぐうこうごう）が応神天皇（おうじんてんのう、八幡神）を妊娠中、新羅に遠征。宗像三女神に航海の安全を祈願する。その後、新羅征伐は成功し、無事に応神天皇を出産した。
- 日本書紀：（一書に曰く）宗像三女神は筑紫の宇佐嶋（宇佐の御許山）に天降る。宇佐の地主神。

○結果3

- 六椹八幡宮の神職の方にインタビュー
- Q. 六椹八幡宮では、玉依姫をどのように解釈していますか。
- A. 応神天皇のお妃と伝わっています。
- Q. お妃の固有の名や、ここで祀られる由来はありますか。
- A. 明らかではありません。
- Q. 同じ八幡信仰の神社でも、玉依姫が示す神が異なるようですが…
- A. そうですね。土地ごとにも様々です。この探求の答えは一つではないと思います。

六椹八幡宮
拝殿内
応神天皇
誕生の瞬間→



○考察

- なぜ八幡系玉依姫の解釈について、多様な解釈があるのか。
- ・宗像三女神説…宇佐との土地的な関連が見られる。
 - ・日本書紀「一書に曰く」…神話には統一性がないことが多い。書物の記述に限らず神話の解釈は多岐にわたる。
- 八幡信仰が伝播する際に、その土地の信仰や風習に触れて、玉依姫の解釈が変化したのではないか。

「八幡総本宮 宇佐神宮」<http://www.usajinguu.com/lineage/>

「日本の神社」https://xn--u9ju32nb2az79btea.asia/shinto13/shrine81.html#google_vignette

「八百万の神」<https://yaokami.jp/>

「玉依姫とその信仰」02人間文化研究52_井ノ内菜央先生

『神社のいろは』神社本庁、令和5年

『マンガならわかる！古事記』神社本庁、令和5年

『神社名鑑』神社本庁、昭和38年

『日本書紀 上』日本古典文学大系、昭和42年、岩波書店

『日本書紀 下』日本古典文学大系、昭和40年、岩波書店